



FlexPod XCS

最新のアプリケーション、データ、ハイブリッド クラウドの運用を管理する一元化された自動プラットフォーム

アプリケーションは企業の顔です。従来のサイロ化したインフラや管理では、ビジネスのスピードに合わせてアプリケーションを導入するのは困難です。最良の選択肢は、優れた可視性、ライフサイクルの完全自動化、従量課金の経済性によってシンプルなインフラと管理を実現し、ビジネスニーズへのよりの確な対応に必要な拡張性と運用効率を獲得することです。

お客様のハイブリッドクラウド化をサポート

- あらゆる情報を可視化
- エンドツーエンドのオートメーション
- インフラ サービス
- 消費モデルを選択可能
- クラウド サービス プロバイダ3社とネイティブに統合

データセンターの将来に備え、ビジネスのペースに合わせて対応できる即応性を獲得するには、大胆な手段を講じる必要があります。ハイブリッド クラウドの未来をサポートするには、インフラと運用を最新化しなければなりません。また、ワークロードとデータが必要な場所ならどこにでも展開できる運用インフラが必要です。

次世代統合インフラの導入

Ciscoとネットアップが提供する次世代型FlexPod®インフラ ソリューション、FlexPod XCSは、新たなレベルの可視化と自動化を実現し、ハイブリッド クラウドへの移行を促進します。Cisco Intersight™クラウド運用プラットフォームと、NetApp® ONTAP®を搭載したデータ ファブリックにより、オンプレミス環境とクラウド環境にわたってワークロードを管理できます。今日のアプリケーションに求められる拡張性と即応性への対応に必要な運用モデルとシームレスなデータ エクスペリエンスが提供されます。

FlexPod XCSは、Ciscoとネットアップの運用機能と管理機能を基盤として、あらゆる情報を強力に可視化します。この可視性により、コストとパフォーマンスを最適化し、導入に関するインテリジェントな意思決定を行い、FlexPodインフラ全体でサポートされる設定を維持するために必要なインサイトが得られます。さらに、コンピューティング、ストレージ、ネットワーク、管理を統合し、設計段階から運用の自動化をシンプルに実現することで、ビジネス ニーズに迅速に対応するための鍵となります。FlexPodサービスのサポートと、クラウド型の消費モデルにより、お客様のビジネスに最適な方法を選択できる柔軟性の高いソリューションです。

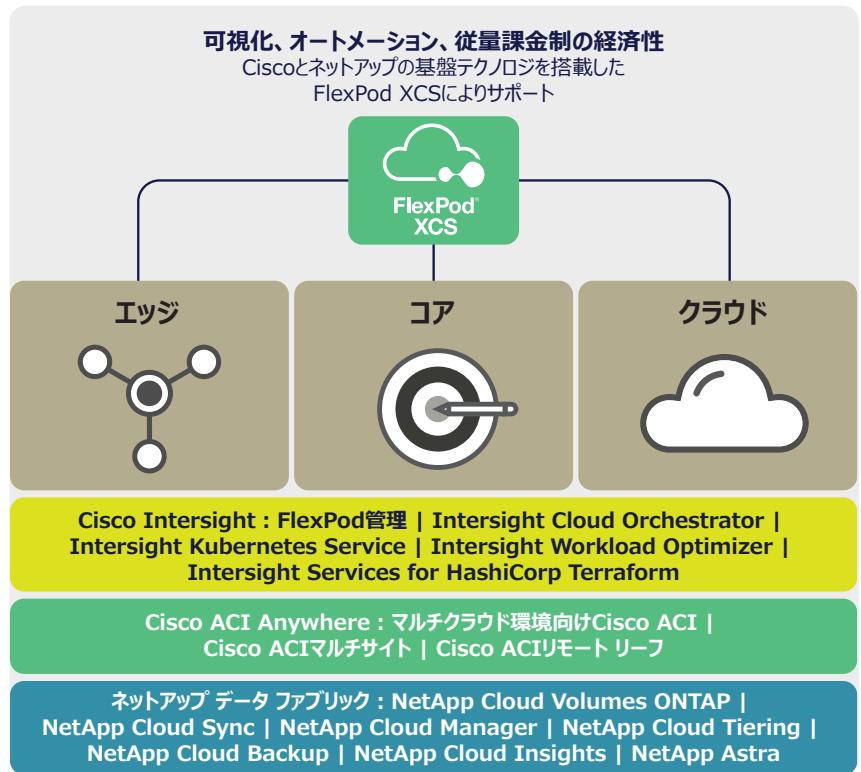
新しい運用モデル

FlexPod XCSの中核となるのは、ONTAPソフトウェアが統合されたCisco Intersight™プラットフォームです。クラウドベースのソフトウェアサービス型ライフサイクル管理プラットフォームで、FlexPodのコンポーネントを統合することで、単一のユーザーインターフェイスによるインフラの完全な可視化と運用管理を可能にします。

一連の革新的な機能により、すべてのFlexPod導入環境で一貫したポリシーベースの自動化を実現できます。FlexPod専用のダッシュボードとワークロード最適化機能により、アプリケーションとインフラの橋渡しに必要な可視性が得られます。さらに、Intersightプラットフォームを採用するだけで、既存のFlexPodインフラに次世代型FlexPodインフラの可視性のメリットを得ることができます。これらはすべて、アプリケーションとインフラの管理方法を変更し、関係者が求める規模とスピードを実現するために役立ちます。

ONTAP搭載

ネットアップのONTAPデータ管理ソフトウェアが搭載されたFlexPodは、ファイルとブロックのワークロードにハイパフォーマンスな共有ストレージを提供し、主要なパブリッククラウドにそれぞれネットアップのクラウドファイルサービスを統合します。



一部のワークロードは、コア データセンターやネットワークのエッジなど、自社の物理インフラに導入する必要があります。その例は以下のとおりです。

- **パフォーマンスの影響を受けやすいワークロード** : ネットワークのエッジでユーザの近くに配置するか、予測可能なパフォーマンスを提供するためにデータセンターに配置する必要があるワークロードです。
- **データの影響を受けやすいワークロード** : アプリケーションと同じ場所に保存された大量のデータや、データ主権の要件を管理するために自分の管理下に置かなければならないデータを含むワークロードです。

FlexPod XCSは、3大クラウド サービス プロバイダとネイティブに統合され、コアとエッジを超えた機能を提供する、最初で唯一の統合インフラ ソリューションです。オンプレミスのインフラと同レベルの自動化、可視化、データ サービスを備え、ハイブリッド クラウドに対応できるようになりました。Intersight Kubernetes Serviceでは、クラウドネイティブのアプリケーションをローカルまたはクラウドに導入できます。Cisco® Application Centric Infrastructure (Cisco ACI®) は、データセンターのネットワークをクラウドまで拡張し、すべてのインフラがコロケーションされているかのように、安全なレイヤ2接続を可能にします。ネットアップを基盤とするデータ ファブリックなどの機能を通じて、デー

タを必要とところに移動して適切な場所に確保することによって、オンプレミスやクラウド上で利用できるようにします。NetApp Cloud Volumes ONTAP、Cloud Manager、Cloud Sync、Cloud Tiering、Cloud Backupによって提供されるすべての機能は、クラウド、データセンター、エッジの各ロケーション間でデータをシームレスに管理し保護するために役立ちます。

FlexPod with Intersightのメリット

- 設計段階から始まる運用の自動化
- フルスタックのライフサイクル管理による効率化
- 次世代アプリケーション向けの可視化と管理による一貫した運用
- 共通ポリシーの抽象化、ガバナンス、コンプライアンス
- サーバ、ネットワーク、ストレージ リソースの柔軟性
- ハイブリッド クラウドへのワークロード移行
- ビジネス継続性とディザスタ リカバリ
- 統一されたデータ エクスペリエンス

インフラの最適化に役立つ可視性

ビジネスでは、顧客1人ひとりに最高の体験を提供する必要があります。そのためには、インフラのアラートやアラームからアプリケーションのパフォーマンスまで、すべてを確認できることが必要です。Intersightは、コンピューティング、ネットワーク、ストレージ、ハイパーバイザー、コンテナ環境を一元的に可視化することができます。以下をサポートしています。

- **FlexPod専用のビュー**では、既存および新規のFlexPodユニットの運用ステータス（インベントリ、健全性ステータス、アラート、ライフサイクル アドバイザリなど）を確認できます。Cisco Technical Assistance Center（Cisco TAC）に直接接続し、問題解決をプロアクティブにサポートします。Ciscoとネットアップの構成互換性マトリックスに基づいた推奨事項が提示され、サポートされる構成への準拠を維持するためにコンポーネント ファームウェアのアップグレードが必要かどうかについて、アドバイスを受けることができます。
- アプリケーションとインフラ コンポーネントの関係を**相関的に分析**することで、インフラがアプリケーションのパフォーマンスを妨げないようにワークロードを最適化できます。

オートメーションによる即応性の確保

現在のIT要員では、オートメーションなしに未来を迎えることはほぼ不可能です。Kubernetesクラスタの導入や新しいエンタープライズ アプリケーションのホスティングが必要な場合、日々のニーズに手作業で対応しているだけでは、即応性を実現できない可能性があります。次世代型FlexPodソリューションにより、設計段階から運用のプロセスを自動化することが可能となり、拡張性と簡易性を備えたインフラを簡単に発展させることができます。

ハイブリッド クラウドの運用でFlexPod with Intersightを導入することで、以下が実現します。

- サーバ、ストレージ、ネットワーク インフラの設定により、設計段階からオートメーションを**提供**
- 仮想マシンで使用するストレージの設定やカスタム ワークフローなど、定義済みの運用を通じて、導入段階から（日常的な）運用を**自動化**
- 運用段階でのオペレーションでサーバやストレージを追加、削除し、運用ライフサイクルを継続的に管理することで、インフラを徐々に**発展**

- 100%アップストリームのKubernetes環境を通じて、ベアメタル サーバ、仮想クラスタ、またはクラウド上にコンテナサービスを**導入**。コンテナ ストレージ インターフェイスを介したネットアップ ストレージ ポリウム上の永続的ストレージ など、Ciscoが提供する拡張サービスのメリットが得られます。サーバ、ファームウェア、ハイパーバイザーのバージョン互換性を自動的にチェックしながら、仮想化クラスタを導入できます。
- 繰り返しの多いDevOpsプロセスを**スピードアップ**。Intersight Service for HashiCorp Terraform、Cisco Intersight API、Kubernetesポッド ファイル、そしてDevOps担当者が好むさまざまなスクリプト言語へのバインディングを通じて、インフラをコードとして導入します。
- Cisco Validated Designと対応するAnsible Playbookを**サポート**し、コストとリスクを削減しながら自動化を実現

将来を見据えた機能

新規および既存のFlexPodインフラではクラウドベースの管理を利用できますが、FlexPod XCSとCisco UCS Xシリーズモジュラ型システムはクラウド管理専用で、統一されたデータ エクスペリエンスを提供します。

最新のネットアップ ストレージ ソリューションとCisco UCS Xシリーズ モジュラ型システムおよびIntersightを搭載したFlexPod XCSは、サーバとそのI/O構成をきめ細かなレベルで定義することが可能です。単一プラットフォームでより広範なワークロードをサポートし最適化できるので、データセンターに多様な種類のサーバを設置するコストを削減できます。柔軟性と適応性に優れたこの統合インフラ ソリューションにより、以下が可能になります。

- クラウドベースの管理サービスでデータセンター環境を**簡易化**
- ハイブリッド クラウド アプリケーションの予測不可能なニーズに**適合**
- 従来のスケールアウト インフラとエンタープライズ アプリケーションに**対応**

将来のニーズに備える



- **Test Drive**でIntersightをお試しください — cisco.com/go/intersight
- 次世代型FlexPod with Intersightをプランに**組み込み**ましょう